

実施日：令和 8 年（2026 年）5 月 6 月

研究テーマ：性別に関わりなく自立し、互いを尊重しあう関係を築けるクラス・学校づくりのためのジェンダー平等教育



研究会の達成目標：実践報告とジェンダー平等教育の課題について

学校生活全体を通してジェンダー平等の視点を育み、互いを尊重し合い主体的に行動できる児童の育成をめざす。

活動内容

5 月は各現場の実践報告や意見交換を行った。
まず、生徒総会の取組で自分たちの学校をよりよいものにするために何が必要かを話し合い、「お互いを認め合うこと」を柱の一つとして掲げた。その中では、苦手な相手がいる場合でも「最低限、相手を傷つけない」という考え方を大切にしたいという意見が出され、互いの尊厳を守る姿勢が示された。という報告があった。

6 月の公開授業についての交流では、学校現場に根強く残るジェンダーバイアスについて意見交換を行った。ある中学校では、「将来は働くが、子どもが生まれたら仕事を辞める」と考える女子生徒が多く、その背景には固定的な性別役割分担意識が影響しているのではないかという話題が挙がった。また、「社会を変える方法は選挙だけではない」という意見も共有さ

れ、児童が教科書の挿絵にあるジェンダーバイアスに気づき出版社へ意見を届けた結果、会社全体で挿絵の見直しにつながった事例が紹介された。子どもたちが自分の声で社会を少しずつ変えられるという成功体験を積み重ねることが、社会参画への意識を育む上で重要であることを改めて確認した。

今後の活動

7 月は、なんでないのプロジェクト代表 福田和子さん（東京大学多様性包摂共創センター特任研究員）による講演会を実施。

包括的性教育について学び、ワークショップを通じて性的同意やジェンダー平等の啓発につなげたい。